

時期

トピックス

1月  
下旬

### ■【京都地下鉄】「コトチカ御池」に大垣書店やスタバなど4店

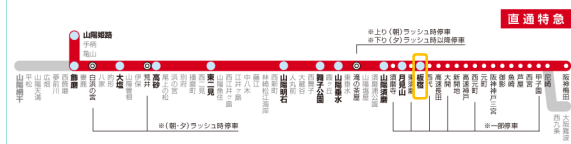
1月21日、京都地下鉄烏丸御池駅(京都市中京区)の駅ナカ店舗に新たな店舗を加えて「kotochika(コトチカ)御池」がグランドオープンし、記念式典が行われた。  
2010年に「コトチカ四条」から始まった駅ナカビジネス事業は、御池店の新規店を加え、4駅27店に拡大した。  
券売機や案内所の配置を移設してできた430平方メートルの面積に4店が出店。既存店を合わせると600平方メートルに6店が営業する。総工費は約5億円。  
テナントは大垣書店、スターバックス、ドラッグストア「ココカラファイン」、リラクゼーション店「ラフィネ」の4店。約100平方メートルの機械室を改装して誕生した大垣書店は、コミックや文庫、雑誌とビジネス書を中心に約2万冊をそろえる。天井の高さを生かした棚やレイアウトを工夫することで小ささを感じさせない店内を作った。  
駅の内外側にまたがる位置にオープンしたスターバックスは、駅の内側にも8席とレジを設け、改札を出ることなく商品を購入することができる。約100平方メートルの区画に出店した「ココカラファイン」は、海外からの旅行者の利用を見越し、免税販売にも対応する。南側に位置するラフィネは四条店に次いで2店目となる。



出席セレモニーの様子(中心は京都市長)

### ■【山陽電鉄】板宿駅に電車型ローソン誕生、運転席には撮影コーナーあり

1月27日、ローソン初の“電車型コンビニ”が朝7時にオープンした。  
山陽電鉄は、兵庫県の神戸市や姫路市などに63.2kmの路線網を持つ準大手私鉄。阪神電鉄経由で大阪市の梅田駅まで直通運転も行っている。(姫路～三宮～梅田)  
山陽電鉄グループで駅売店などを展開する山陽フレンズ(兵庫県明石市)とローソンが共同開発したもので、山陽電車の板宿駅(兵庫県神戸市)改札前の売店を拡張。“電車型コンビニ”としてリニューアル。  
外観デザインには、山陽電鉄に今春から導入される予定の新型車両6000系が採用された。店内では、運転席に当たる位置へ「撮影コーナー」や、電車グッズの特設売り場などを設置。  
山陽フレンズとローソンは「今後も山陽電車沿線を中心に、より多くの地域のお客さまに愛される店舗づくりを積極的に進めていく予定」とのこと。



電車型コンビニ、ローソン初!

2月  
月上旬

### ■【阪神】甲子園球場に新シート導入、家族・グループ用とペア用の2種類

2月2日、阪神電鉄は阪神甲子園球場(西宮市甲子園町)に2種類のシートを新設すると発表した。  
新設されるのは「ボックスシート」と「フリーズペアシート」で詳細は下図参照。  
4月8日に始まるプロ野球公式戦から提供を開始する。

阪神電鉄では、3月～9月の公式戦期間中に阪神球場へ向かう電車車内の中吊りで、「タイガース・スポット」という商品を毎年展開している。  
内容は、車内の中吊りを通常掲出料金から40%オフとなるキャンペーン企画。  
球場へ向かう観客へ訴求力のあるアピールができる。  
阪神タイガースは2005年以來の優勝をめざし、2015年10月に就任した新監督金本氏のもと、キャンプに励む。

【阪神タイガース 公式戦スケジュール】

開戦月	日程	電撃球場	別荘選手	タイガースホスト掲出期間
3月	25日～27日	京セラドーム大阪	中日	16日間
	8日～10日	阪神甲子園球場	広島	
	12日～14日	阪神甲子園球場	DeNA	
4月	18日～20日	阪神甲子園球場	ヤクルト	12日間
	26日～30日	阪神甲子園球場	巨人(26-30)	
	1日	阪神甲子園球場	DeNA	
5月	4日～8日	阪神甲子園球場	ソフトバンク	12日間
	10日～11日	阪神甲子園球場	巨人	
	17日～22日	阪神甲子園球場	中日(17-19)	
6月	3日～5日	阪神甲子園球場	西武ライオンズ	12日間
	14日～19日	阪神甲子園球場	オリックス(14-16)	
	28日～30日	阪神甲子園球場	DeNA	
7月	8日～10日	阪神甲子園球場	広島	12日間
	18日～20日	阪神甲子園球場	巨人	
	26日～31日	阪神甲子園球場	ヤクルト(26-28)	
8月	12日～14日	京セラドーム大阪	中日	8日間
	16日～17日	京セラドーム大阪	広島	
	26日～28日	阪神甲子園球場	ヤクルト	
9月	2日～4日	阪神甲子園球場	DeNA	10日間
	8日～9日	阪神甲子園球場	巨人	
	14日	阪神甲子園球場	広島	
	17日～19日	阪神甲子園球場	DeNA(18-17)	
			巨人(18-19)	

【タイガース・スポット 掲出区間】



<フリーズペアシート設置位置>

設置場所：フリーズシート最上段部分  
設置数：6シート(3シート×2段)  
定員：1シートにつき2名  
(計12名)  
販売対象：一般販売

←フリーズペアシートは各席に備え付けのカウンターで飲食を楽しめるほか、隣の席との間隔を広めに取り、2名だけの空間を確保したうえで、スムーズに出入り可能な配置。

<ボックスシート設置位置>

設置場所・設置数：アイビーシート 2ボックス  
フリーズシート 2ボックス  
定員：アイビーシート…1ボックスにつき5名  
フリーズシート…5名と6名  
(計11名)  
販売対象：一般販売

←ボックスシートは5～6人のファミリーやグループの利用を想定する。  
周囲はしきりで囲い、ボックス内の床は段差のない全面クッション仕様。  
寝転ぶなど自由なスタイルで観戦できる。

### ■【JR西日本】大阪環状線・新今宮駅東口の愛称を「通天閣口」に

2月10日(ツーテンの日)、JR西日本が大阪環状線・新今宮駅東口の愛称名を「通天閣口」と命名し、記念式典を開いた。  
大阪環状線のイメージ刷新と乗客の満足度向上を目的に、2013年から展開している「大阪環状線改造プロジェクト」の一環。愛称制定は、新世界のシンボル「通天閣」(大阪市浪速区)が同駅の東口側に位置すること、通天閣を訪れる目的の乗客が誤って反対側の出口を利用するケースがあるからだという。  
当日の制定記念式典では新改札銘板が披露された。通天閣観光の西上雅章社長は「通天閣は今年(10月28日)で60周年。人間で言うと還暦を迎える。JR西日本さんからすばらしい還暦祝いもらった」と話す。  
また当日は14時から、愛称の制定記念として「ビリケンさん足裏スクラッチ付き通天閣案内マップ」が、JR新今宮駅の改札口で通天閣への行き方をたずねた人に配布された。1人1枚、2100枚限定で、スクラッチ印刷された部分をこすると、ビリケンさんからのメッセージが出てくる。



愛称「通天閣口」に